

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	HOによる
	サラマンダー					
オプション			年齢	18	性別	男
覚醒	忘却	衝動	飢餓	初期侵食率	31 %	
出自	義理の両親	経験	記憶喪失	邂逅	家族(と呼べる付き合い)	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	36
肉体	4	1	2			7	行動値	4
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	2	0	0			2	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:ポエム(詩)	1		知識:			情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ナックルダスター(略名:ND)	白兵	7r+4	0	1		指抜きグローブ
CR2+炎の刃2+結合装備1+炎神の怒り2:率+11%(ND装備時)	白兵	11r+4	0	1+4		c-2、装甲無視、判定D+4、HP-3
CR+炎神の怒り2+炎の刃2+結合装備+COM1:率+15%(ND装備時)	白兵	11r+4	0	1+4+8		80↑侵蝕D+2、c-2、装甲無視、判定D+1+3-2、HP-3
CR3+炎神の怒り3+炎の刃3+結合装備2+COM1:率+15%(ND装備時)	白兵	14r+4	0	1+6+12		100↑侵蝕D+3、c-3、装甲無視、判定D+2+4-2、HP-3

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
強化服	1	1			

所持品		合計装甲:	1	合計回避:	0
ウェポンケース					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	タス	消費
NPC:神城早月	P 家族	N 隔意			
NPC:N市(日本)	P 好奇心	N 疎外感			
NPC:記憶の中の何か	P 懐旧	N 喪失			
PL1:神谷晶	P 後輩	N 無関心			
シリア:ライバル	P 殺意	N 憐憫			
シリア:ヒロイン	P 殺意	N 猜疑心			
PL3:八坂	P 連帯感	N 隔意			
最大財産P:	4	残り財産P:	1		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:サラマンダー	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: I P169								
結合粉碎	2	4	メジャー	-	-	シンドローム	ピ17	
効果: I P161								
炎神の怒り	3	3	メジャー	-	-	肉体	-	
効果: I P158								
クロスバースト	4	4	メジャー	-	-	シンドローム	80↑	
効果: II P163								
炎の刃	2	2	メジャー	武器	-	白兵/射撃	-	
効果: II P162								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

PC⑤ ロイス:ライバル
 目標『ライバルと決着をつける』
 =====
 名前:草神・アッシュ・京吾 (くさがみ・あっしゅ・けいご)
 国籍:日本(本人は出身はフランスと自称)
 詳細:
 彼は神城グループの神城早月の義理の弟であり、UGNチルドレンとしての過程を経たオーヴァードである。
 神城家と全く血縁関係のない彼が苗字こそ異なるが事実上神城家の一員として扱われるようになった理由は不明。
 当主、当日曰く『草神には一切の相続含める神城家の権利を認めぬ。が、この者は神城の子だ』
 この宣言は内外に広まり、様々な憶測・噂を産んだがその全てが晴れることはなかった。
 それは彼自身の飄々として気楽に、レネゲイドの秘密を知る者達にとっては強大なオーヴァードとしての存在を
 気分一つで扱う様に彼の真意が覆われていたことも理由の一つであろう。
 いい加減な性分であるが幼少の頃より神城グループと協力関係にあるUGNへチルドレンとしての長期間の調整を
 終えた彼は、高い身体能力を有しておりその才は特に白兵戦の格闘術に優れる。
 一方で格闘術、特に武術と言った技術を軽視する発言が見られた。
 彼曰く「弱いヤツが強くなるために頑張った結果で、ボクには必要ないね。元より強いから」
 事実彼は高い身体能力とオーヴァードの力を駆使した本能的な戦い、我流を好んで使用する。
 強者としてのうめぼれと驕り、手のひらで揺蕩う緑炎を見つめて彼は今宵も街を歩く。
 幼少より喪失したままの何かを求めて。